

「音楽」（おんがく）学習指導案

1. 日時 令和7年12月10日（水） 第3時限（10:20～11:00）
2. 場所 小学部 教室
3. 学部・学年・組 小学部
4. 単元（題材）名 「音楽を聴いて活動に取り組もう。」
5. 単元（題材）目標

- ・音や音楽を感じながら、楽器を鳴らしたり、体を動かしたりする。〈知識及び技能〉
- ・音楽を聴き、自分なりの方法で表現する。〈思考力、判断力、表現力等〉
- ・音や音楽を通して、楽器を鳴らしたり、体を動かしたりすることに楽しもうとする。〈学びに向かう力、人間性等〉

6. 児童観

本学級には、特別支援学校学習指導要領における小学部1段階から2段階の児童であるが、障がいの状態は様々で、発達段階にも幅がある。また、肢体不自由を併せ有する児童や多動性の児童もいるため、椅子に正しく座るように支援・介助が必要である。

授業や活動においては、主指導の教師（T1）が前で話している時に注目でき、話を聞こうとする姿勢がみられる児童が多い。しかし、他のものに興味・関心が移ると離席したり、声を出したりことがある児童もいる。音楽や歌が好きな児童が多く、ポケットモンスターやアンパンマンやディズニーの曲が流れると喜ぶ。歌うことが上手な児童や、最近歌うことができるようになった児童がいる。

3年生になり、前期ではタンバリンを使い『どうぶつたいそう1・2・3』を楽器で表現したり、『ひらいたひらいた』、『どんないろがすき』の鑑賞の授業をしたりした。一定のリズムで楽器を鳴らすことができる児童がいたり、音楽を聴きながら楽しんで楽器を鳴らすことができる児童がいたりする。映像を見ることに集中し、楽器を鳴らすことに意識を向けることが難しい児童もいるが、教師が言葉かけをしたり、環境を整えたりすることで、楽器を鳴らすことができる児童もいる。聴覚に過敏のある児童がいるため、音の大きさを調整することが必要になる。

7. 教材観

本単元は、特別支援学校学習指導要領の小学部音楽科の1段階の目標（イ）「音楽的な表現を楽しむことや、音や音楽に気付きながら関心や興味をもって聴くことができるようにする。」にねらいをおき、内容A表現ア（ア）「音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表そうとすること」、B鑑賞ア（イ）「聴こえてくる音や音楽に気付くこと。」を取り上げる。

本単元は秋から冬に実施するため、鑑賞・身体表現の題材では、季節を感じられる曲を選曲し、『きのこ』を取り扱う。この曲に親しみがある児童もいれば、親しみのない児童もいる。今年の音楽では『どこのこのきのこ』を取り上げて学習していたことがあり、「きのこ」という食べ物に親しみがあると考えられるため、この教材を設定した。ペープサートを使って「きのこ」が大きくなる様子を表現し、歌詞をイメージしやすくして授業を進める。

器楽では、『おどるぽんぽこりん』を題材として取り扱う。多くの人に親しみのある曲であり、すずやカスタネット、タンバリンを使用して、リズムによって自分なりに表現しやすい曲であることから、この曲を選曲した。実際に指導者と一人の児童が好きなキャラクターの曲であり、その児童を中心に盛り上がるという思いからこの曲で授業をする。

8. 指導観

器楽については、まず、音楽を聴くことから始め、音楽を知って楽しいと思えるようにして、自然と体が動き、楽器で表現することにつなげたい。音楽に集中することが難しい児童がいれば、リズムに合わせて背中をトントンとたたいたり、近くで歌を歌うことで音楽に親しみをもてるようにしたりして、音楽に興味をもち、楽しいと感じられるようにし、曲の始まりから終わりまでのタイミングで楽器を鳴らすことができるようにする。

鑑賞については、『きのこ』のペープサートを作成し、立体的なもので動くものを教材として準備することで、児童の興味・関心をひきつけ、注目しやすいものにする。歌詞の動きに合わせたきのこをつくることで、歌詞にも触れながら音楽を聴くことができるようにする。音楽を聴く回数が重ねると、児童がペープサートを操作する機会もつくることで、より音楽を楽しむことができるようにする。

身体表現について、「背がのびる」「かさが大きくなる」等簡単な歌詞を抜粋し、簡単な言葉で児童に説明したり、児童の目の前でペープサートを披露したりすることで、少しでも音楽で感じて身体表現できるようにする。また、多動性のある児童もいるため、動くことができる時間を設け、動く場所を指定することで、児童が十分に体を動かせる活動を設定している。

授業をする上で、活動のつながりを意識して設定することで、児童により音楽を学べるようにする。まず、『がんばりまんのうた』では歌に合わせて名前を呼ばれたらタンバリンをたたく、できる児童はリズムにあわせて3回たたくことから活動がはじまり、その次に楽器を鳴らすことにつなげる。鑑賞と身体表現では同じ曲を使い、はじめに鑑賞をして音楽をしっかりと聴くことで、その後はより音楽を知った状態で身体表現で体を動かすことができるようにする。

9. 単元（題材）の評価規準

A 知識・技能	B 思考・判断・表現	C 主体的に学習に取り組む態度
① ペープサートや映像に注目し、見聴きしている。(鑑賞) ② 楽器の鳴らし方がわかる。(器楽) ③ 音楽を感じて、自分なりに身体を動かそうとしている。(身体表現)	① 『きのこ』のペープサートを見聴きし、声を出したり、体を動かしたりしている。(鑑賞) ② 自分で使いたい楽器を選び、鳴らしている。(器楽) ③ 音楽を感じて、自分なりに身体を動かそうとしている。(身体表現)	① 音楽を聴きながら、ペープサートを楽しもうとしている。(鑑賞) ② 音楽を聴きながら、自ら楽器を鳴らそうとしている。(器楽) ③ 体を動かすことを楽しんでいる。(身体表現)

10. 単元（題材）の指導と評価の計画（全6時間、本時は第6時）

次	時	学習内容	学習活動	指導上の留意点	評価規準(評価方法)
1	1	・音楽を聴き、曲を知る。	・『おどるぽんぽこりん』の音楽（映像付き）を見聴きする。	・曲と一緒に映像を流すことにより、曲に親しむことができるようにする。	・A①
	2	・すずの使い方を知る。	・音楽を聴いて、すずを鳴らす。	・いくつかの鳴らし方を知らせることで、興味・関心をもってその後の活動に積極的に取り組むことができるようにする。	・A①
		・音楽を聴いて、曲を知り、ペープサートに注目する。	・『きのこ』のペープサートを見聴きする。	・児童がやってみたいと思えるようにペープサートの動かし方を提示する。	・A①、B①
		・手本を見て、教師や友だちと一緒に体を動かす。	・『きのこ』を見聴きし、歌詞に触れる。	・体を動かすことに集中できるように、映像を映さず、教師が歌い、ペープサートを提示する。 ・曲の途中で分かりやすく合図することで「止まる」「動く」を表現しやすくする。	・A③、B③
1	3	・音楽を聴き、曲を知る。	・『おどるぽんぽこりん』の音楽（映像付き）を見聴きする。	・曲と一緒に映像を流すことにより、曲に親しむことができるようにする。	・A①
	4	・カスタネットの使い方を知る。	・音楽を聴いて、カスタネットを鳴らす。	・刺激物を減らして、楽器を鳴らすことに集中できるように、映像を流さず、音楽だけを流す。	・A②
		・音楽を聴いて曲を知り、ペープサートを動かして、歌詞に触れる。	・『きのこ』のペープサートを見聴きする。 ・『きのこ』のペープサートを操作する。	・ひもや割りばしをつけることで、児童が簡単に操作できるようにする。そして、より「き	・A①、B①

		<p>・『きのこ』を見聴きし、歌詞に触れながら体を動かす。</p>	<p>・手本を見て、教師や友だちと一緒に体を動かす。</p>	<p>のこ」に注目できて、曲を知ることができるようにする。</p> <p>・「背がのびる」「かさが大きくなる」にしぼり、その二つの動作に注目できるようにする。(2段階)</p> <p>・体を動かすことに集中できるように、映像を映さず、教師が歌い、ペープサートを提示する。</p> <p>・曲の途中で分かりやすく合図することで「止まる」「動く」「背がのびる」「かさが大きくなる」等を表現しやすくする。</p>	<p>・B③</p>
2	5 6	<p>・音楽を聴き、曲を知る。</p> <p>・すず、カスタネット、タンバリンの使い方を知る。</p> <p>・音楽を聴いて、曲を</p>	<p>・『おどるぽんぽこりん』の音楽(映像付き)を見聴きする。</p> <p>・音楽を聴いて、楽器を選び、楽器を鳴らす。</p> <p>・『きのこ』のペープサ</p>	<p>・曲と一緒に映像を流すことにより、曲に親しむことができるようにする。</p> <p>・目と耳で楽器を知って選ぶことができるように児童の目の前で楽器を鳴らす。</p> <p>・選んだ楽器の鳴らし方を楽器ごとに確認することで、鳴らし方を知ることができるようにする。</p> <p>・楽器を鳴らすことに集中できるように、映像を流さず、音楽だけを流す。</p> <p>・ひもや割りばしをつ</p>	<p>・B②(5時)、C②(6時)</p>

	<p>知り、きのこに注目する。</p> <p>・『きのこ』を見聴きし、歌詞に触れる。</p>	<p>ートを見聴きする。</p> <p>・手本を見て、教師や友だちと一緒に体を動かす。</p>	<p>けることで、児童が簡単に操作できるようにする。そして、より「きのこ」に注目できて、曲を知ることができるようにする。</p> <p>・「背がのびる」「かさが大きくなる」にしぼり、その二つの動作に注目できるようにする。(2段階)</p> <p>・体を動かすことに集中できるように、映像を映さず、教師が歌い、ペープサートを提示する。</p> <p>・曲の途中で分かりやすく合図することで「止まる」「動く」「背がのびる」「かさが大きくなる」等を表現しやすくする。</p>	<p>・C③</p>
--	--	---	--	------------

11. 本時の展開

(1) 本時の目標

- ・音楽を聴きながら、楽器を鳴らすことができる。
- ・音楽を聴きながら、身体を動かすことを楽しもうとしている。

(2) 本時の評価規準

- ・音楽を聴きながら、自ら楽器を鳴らそうとしている。
- ・身体を動かすことを楽しんでいる。

(3) 本時で扱う教材・教具

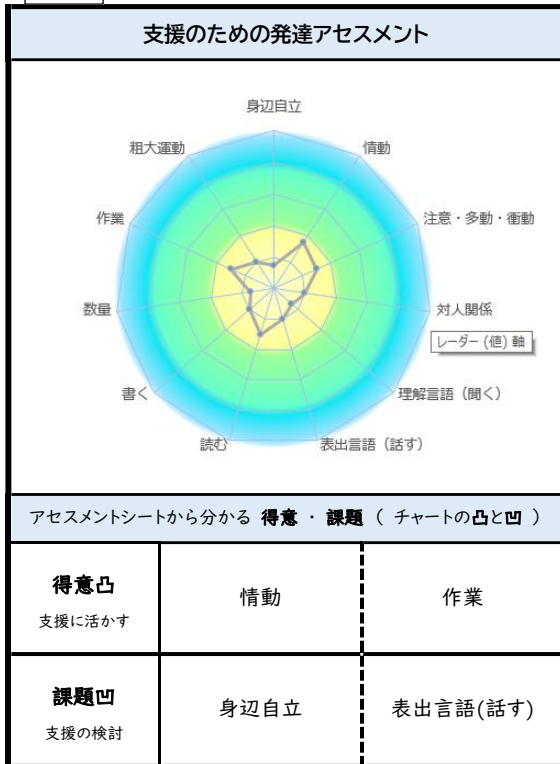
ペープサート、大型モニター、タブレット端末、HDMI ケーブル、カスタネット、タンバリン、すず

(4) 本時の学習過程

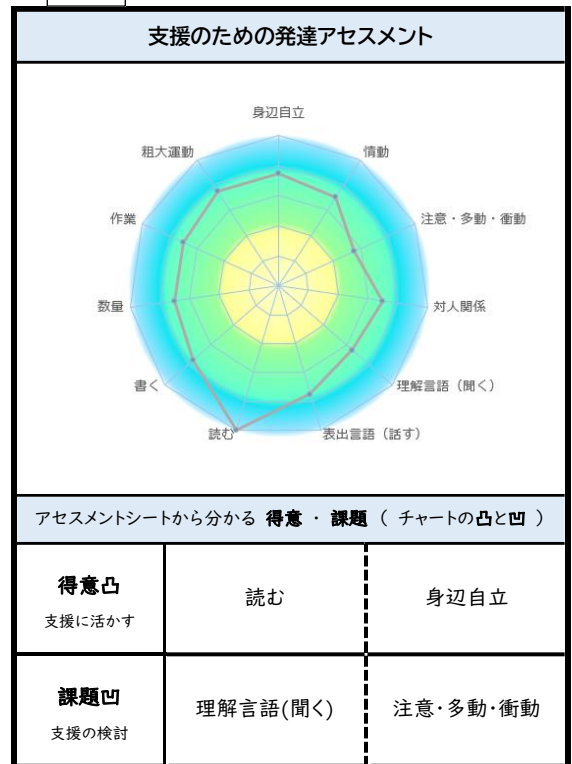
時間	学習内容・学習活動	指導上の留意点及び支援の手だて等	評価規準(評価方法)
5分 導 入	<ul style="list-style-type: none"> ○あいさつをする。 ・授業の始まりを意識する。 ○本時の活動の流れを確認する。 ・本時の活動を知ることで、見通しをもつ。 ○『がんばりまんのうた』で出席確認をする。 ・名前を呼ばれたら、タンバリンをたたいて応える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の始まりを意識できるように姿勢を正すように言葉をかける。 ・文字とともにイラストをつけることで見通しをもてるように提示する。 ・名前を呼ばれたときに反応しているか確認する。 	
27分 展 開	<ul style="list-style-type: none"> ○『おどるポンポコリン』を見聴きする。 ・楽器を鳴らす音楽を知る。 ○『おどるポンポコリン』を聴きながら楽器を鳴らす。 ・タンバリン・カスタネット・すずの中から一つ選び、自分なりに楽器を鳴らす。 ○『きのこ』のペープサートを見聴きする。 ・ペープサートを見て、歌詞に触れようとする。 ○『きのこ』を聴きながら体を動か 	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しい雰囲気を知れるように、音楽とともに映像も流す。 ・目と耳で楽器を選ぶことができるように、目の前で楽器を鳴らす。 ・前で楽器を鳴らす手本を示すことで、児童が少しでも楽器を鳴らすことができるようにする。 ・音楽だけを流し、楽器を鳴らすことに集中できるようにする。 ・児童がやってみたいと思えるようにペープサートを動かす。 ・児童が歌詞に触れられるように動くきのこのペープサートを用意する。 ・合図や手本をすることで、「動く」 	<ul style="list-style-type: none"> ・C② ・C③

	<p>す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師の合図を聞いて、「動く」「止まる」「背がのびる」「かさが大きくなる」等を、動きで表現する。 	<p>「止まる」の簡単な動きで表現できるようにする。(1段階)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合図をすることで、「動く」「止まる」「背がのびる」「かさが大きくなる」の簡単な動きを表現できるようにする。(2段階) 	
8分 ま と め	<p>○振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気持ちカードで感想を伝える。(1段階) ・言葉で感想を言う。(2段階) <p>○あいさつをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の終わりを意識する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・どのような活動をしたか、一緒に確認する。 ・児童によってカードの数を換え、提示する。(1段階) ・先に言葉で言うように伝えることで、言葉で感想を言えるようにする。(2段階) ・授業の終わりを意識できるように、姿勢を正すように言葉をかける。 	

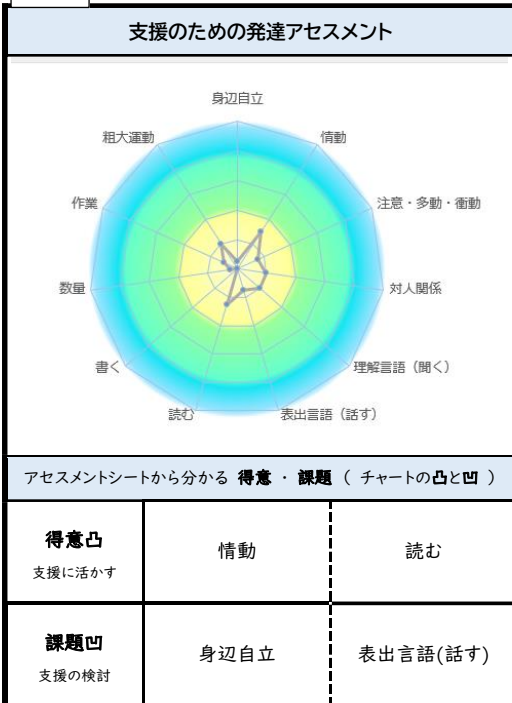
A



B



C



D

